

# やさしさあふれる、生き生き白根。

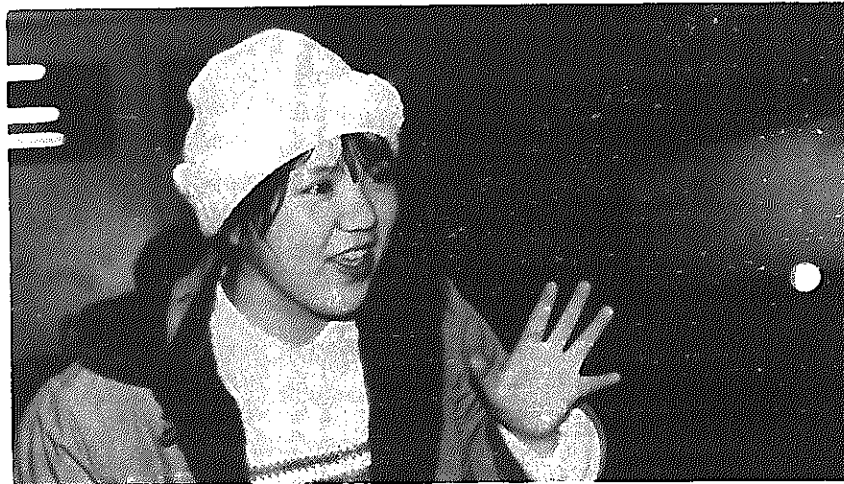
- 精神薄弱児施設への負担金…821万円
- 身体障害者の更生医療費…581万円
- 重度心身障害者医療費…1,490万円
- 重度障害者福祉手当…2,190万円
- 精神薄弱者更生援護措置…2,963万円
- 燕特別養護老人ホーム建設用地購入…658万円
- 老人センターの運営費…1,525万円
- 老人ホーム入所措置…4,376万円
- 老人保健会計へ…6,592万円
- 児童手当…5,972万円
- 生活保護費…1億7,080万円

障害者の問題は障害の種類と程度により、その欲求が広範多岐にわたるため、国、県の

## 身障者・精神者福祉

福祉の基本理念は、すべての市民が健康で文化的な暮らしができるかにあります。そのため援護、育成、更生の措置を必要とする人に、正常な社会人として社会生活を営むことができるよう、行政としても手助けしていかねばなりません。

具体的には各種の相談業務や施設への入所と更生と心身の健全育成指導、奉仕員の派遣業務などを展開して、社会生活を送るうえでいろいろ障害を、まず、取り除いていかなければならないと考えています。



高齢化社会への対応は、市民みんなの共通課題です。その認識の上に立ち、お年寄りが健康で活力ある日常生活を送ることができるよう基盤づくりを進めます。

## 老人福祉

諸施策を補完しながら処遇の充実に努めます。中東地区精神薄弱児施設「ふなおか学園」に成人施設を併設するため、昨年度に引き続き施設整備基金を負担していきます。



出生率の低下で保育園児が減少し、保育所の適正な配置が求められています。そのため未満児保育などを実施し、地域住民の要求に応えていく考えです。

## 児童福祉

このほか心身に障害を持つ児童にはその可能性を最大限に伸ばし、可能な限り社会参加できるように、乳幼児期での早い発見と適正な治療訓練の必要性にかんがみて、療育事業の充実化に取り組んでいきます。

## 昭和59年度 一般会計予算

# 54億5,000万円

### 予算のうちわけ

( )内は増減率で△印は減

#### 歳入

59年度=54億5,000万円 (5.2%)  
58年度=51億8,300万円

#### 歳出

59年度=54億5,000万円 (5.2%)  
58年度=51億8,300万円

22億8,936万円 (5.8%)	市税	民生費	10億9,792万円 (4.6%)
12億2,388万円 (△1.6%)	地方交付税	公債費	10億3,493万円 (2.6%)
5億3,735万円 (3.1%)	国庫支出金	総務費	7億2,667万円 (24.0%)
4億1,690万円 (15.5%)	諸収入	教育費	5億6,236万円 (△8.9%)
3億1,412万円 (0.9%)	県支出金	土木費	5億1,624万円 (4.7%)
1億8,011万円 (6.9%)	分担金及び負担金	農林水産業費	4億9,113万円 (9.9%)
1億5,530万円 (△9.4%)	市債	商工費	4億6,926万円 (13.7%)
9,100万円 (71.7%)	繰入金	衛生費	2億7,569万円 (2.4%)
8,900万円 (3.5%)	地方譲与税	消防費	1億3,967万円 (7.4%)
5,217万円 (330.4%)	財産収入	議会費	1億0,959万円 (8.0%)
1億0,081万円 (10.4%)	自動車取得税交付金ほか	労働費ほか	2,654万円 (△60.9%)

### 市民1人が負担する税金 (人口3月1日現在=34,247人) 66,849円

総額	市民税	固定資産税	電気税	たばこ消費税ほか
66,849円	26,928円	29,341円	4,491円	6,089円

1世帯に使われる市の予算 699,346円
1世帯が負担する税金 293,772円
世帯3月1日現在 7,793世帯

### 市民1人に使われる市の予算 (人口3月1日現在=34,247人) 159,138円

総額	教育費	民生費	土木費	総務費	農林水産業費	商工費ほか
159,138円	16,421円	32,059円	15,074円	21,219円	14,341円	60,024円